

自助・共助・公助で新しいまちづくりを目指して

# 「行財政改革推進プラン」を策定

町では、昨年七月から新たな行財政改革推進体制のもと、全事務事業の見直しを行い、健全な行財政運営に向けて、今後3年間の指針となる行財政改革推進プラン策定の検討を行ってき

ました。

策定に当たっては、民間有識者十五人により構成される「町行財政改革推進委員会」の答申はもとより、町内会連合会の提言、さらには町民の皆さんから

多くのご意見をいただきました。そして議会による度重なる議論を踏まえてプランを策定しました。



山田会長から答申を受ける広江町長

プランの取組みは、平成十七年度から十九年度までの三力年ですが、今後も国の三位一体改革の各論部分の影響を始めとする社会情勢の変化が予想されることから、この取組み期間中であつても、これらの要因を踏まえ、常に定型化しがちな業務の見直しと改善を図っていきます。なお、取組みの過程においては、改革に伴うサービス低下を可能な限り緩和出来るような方策を講じるとともに、その進捗状況などについては、町民の皆さんへ随時公表し透明性を確保しながら、地方分権時代にふさわしい自らの発想で独自の町政の実現に向け、「住民協働」を基軸に町民の皆さんと共に進めてまいりますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

## 笠松町消防団 第3分団車庫が完成



完成した第3分団消防車庫

### 寄附

二月三日、岐阜東南ロータリークラブ（岐阜市）から「公共施設巡回町民バスの集合場所および笠松中学校に設置してください」と、ベンチ二十五基の寄附がありました。

町では、ご趣旨に沿うよう活用させていただきます。

笠松町消防団第3分団車庫が下羽栗会館の地階に完成し、多数の関係者が出席するなか完成式が行われました。

この車庫は、会館地階の既存の中部班車庫と、ピロティー部分を改修し、団員の詰め所などを併設したものです。消防自動車三台を収容できるスペースを

確保し、下羽栗地域の消防防災活動の拠点となるように配慮した施設です。また、災害時にはこの会館を避難所として指定していることを考慮し、耐震補強工事を併せて実施しました。

なお、この施設の供用開始に伴い、米野班・円城寺班の各車庫は、廃止されます。